

## 第7回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成14年10月17日（木）PM1：30～PM2：50

場 所 峰山町役場

出席者数 19人（欠席1人）

傍聴者数 4人

主な議題

- （1）協議第1号 新市建設計画について
- （2）次回の議題について
- （3）次回の小委員会の日程等

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

- （1）協議第1号 新市建設計画について

新市建設計画の具体化に向けた小委員会での協議・自由討論より

総務・企画・議会小委員会委員長報告

- ・合併が広域で行われることから、地域審議会の設置を希望する。
- ・非常備消防について、消防活動の充実、特に昼間における体制の整備や資機材の充実を強く望む。

住民・福祉・教育小委員会委員長報告

- ・女性の社会進出の拡大や子育て環境の変化などを背景とした「就学前教育の充実」や「保育環境の充実」を望む。
- ・新市において、エンゼルプランを早期に策定されたい。
- ・図書館を含め、生涯学習の場の充実を図られたい。

建設・産業小委員会委員長報告

- ・ゾーニングにマッチした市役所組織の整備
- ・他地域との交流を豊かにするための道路整備
- ・市域の交流や役所とのアクセスのための道路整備
- ・「農業振興に関する計画」について、新市における計画づくりにおいては、各地域の特性を踏まえ、これを生かすよう努力されたい。
- ・人材育成や中小企業の研究開発に係る支援体制等、新しい市の産業活性化を図る施策の充実を検討されたい。

## 主な意見

- 委員 本所・支所については、ゾーニングにマッチしたものとして、水産や観光など各独立したものを持つのか、本庁の小型ということになるのか。
- 委員長 事業系の課はできるだけ支所に残したい。それには地域把握のための職員の配置を基本に検討している。
- 委員 建設・産業小委員会から出ていたゾーニングにマッチした支所とすると、拠点をどこにおくかわからないが、例えば水産観光にしてもその拠点まで足を運ばなければならなくなるといった不安を持つ。
- 委員長 部制を置くとして、部のあるところには多少職員は多くなるが、その他の支所にも職員を配置して機能していく状態を考えてほしい。
- 委員 本所・市所間は光ファイバーで結ばれると考え、事務的には支障がないと思うが、以前CATVを取り入れるような話を聞き、丹後のような広域では必要と考えているがどうか。
- 委員 聞くところによると従来型のCATVはもう時代遅れで、IT関連で通信を主体にした、もっと進んだ形のものと聞いている。費用など知っていれば教えてほしい。
- 委員長 試算すると従来型のCATVは76億円ほどかかる。テレビを含む通信を主体とした新しいシステム(FTTH)はこれよりかなり額が増えると聞いているが、現在前向きに検討中である。
- 委員 地域に早く情報を伝え、またそこから発信していくというように、先取りして全国から視察が来るくらいの電子自治体を確立してほしい。また地域の声、計画の進行を見守るためにも地域審議会の設置を併せて考えてほしい。
- 委員長 地域審議会についても前向きに検討している。
- 委員 ゾーニングの図を見ると、真ん中に網野、峰山、大宮町があり、ここら辺を中心と考えたらどうか。あまりに分散すると逆に住民にとっては不便となるので、この3町を中心にとすれば便利ではないか。また福祉・健康・医療体制などは、西を久美浜町、東を弥栄町が受け持つとしたらどうか。
- 委員 支所を残すと合併の意味がないと住民の方々に思われる恐れもあり、多少は不便であっても一緒になるんだという意識の中では、本庁のみといったこともあるべき姿ではないか。
- 委員 地域の利便性・活性化を考えると道路整備が一番大切な問題で、合併により距離感をなくすることは住民に対するインパクトが強いと考える。6町間の国・府・町道を含めたアクセスに関する検討が必要ではないか。
- 委員長 各町の道路整備について、どうするかは今後十分検討したい。
- 町長 京都縦貫道、高規格道路などと新市へのアクセスについて、水戸谷峠などまだ未整備となっている部分があり京都府の方に要望していきたい。
- 委員 高齢化社会の中で、道路問題と一緒に病院問題など新市計画において、将来の医療体制を住民に一定の形で示す必要があると考える。
- 副委員長 せっかくいい病院が2つあるから、それを核とした地域包括医療体制が組めな

いかと考えている。2ブロックに分け、福祉・医療・健康を一括できるようなシステム作りを新市計画の中で検討したい。

町長 国では病院について独立行政法人化するというような話がでてきている。今すぐではないが、合併後に新市で検討すべく明記していかねばならないと思っている。

委員 事業課を支所に残すということだったが、どこまでの権限を委譲するのかが問題ではないか。また新市建設計画で一番最初にやらなければならないのは道路だと思う。6町の利便性・交流を考えると、住民の距離感をなくすことができれば、ある程度の問題は解決できるのではないか。

委員長 事業系の課の予算の問題、本庁と支所の関係も研究し検討していきたい

委員 道路について問題となっているが、府内の合併協議会の第1号として、またわれわれも一丸となった姿を持ってあがり、京都府には配慮をしていただきたい。

京都府 京都府としては、合併は地域づくりの有力な手法のひとつとして、自主的・主体的な動きに期待をしている。議論が活発化・具体化する中で話がまとまり、地域づくりのイメージと一緒に持ってきてもらえば、検討していかねばならない段階にきていると考えている。

委員 本所・支所の関係で、ゾーニングにマッチした支所機能ということを中心にみんな考えているようだが、支所をアンテナとしてネットワークを持たせることを考えないと、各町の特徴を活かすことで逆にひとつになれず単独町でやればよいうということになってしまう。道路も観光協会もネットワークのひとつ、いかにスムーズな効率的なネットワークを作っていくかということが必要と考える。

委員 新市建設計画の中間案に行財政基盤の確立が出ていない。また交付税積算との関係で、常備、非常備消防についてどちらを充実させていくのか。

委員 広域消防組合について、消防団との関係も含め一定の見直し、再構築が必要ではないかと考える。また新市になり、はしご車等の購入問題も出てくると考える。

委員 区長制の問題、また地域審議会設置の問題など住民の気持ちを吸い上げたり配慮したりしなければ理解が得られないのではないか。

委員長 住民の意見を吸いあげる機関として、区長制度、地域審議会などの整備が必要ではないか。

委員 新市になるのだから、6町がひとつのまちとしての個性を持たないと意味がない。不況により若者の定着率が下がりスポーツの活発化がなくなっており、産業の活性化が必要と考える。またスポーツ施設など、6町が一堂に会する場として、箱物をたくさん作れというのではなく、峰山の途中ヶ丘陸上競技場、野球場のように、それぞれシンボル、ステータスといった施設を作っていかなければならないと考える。高齢化人口の増加を考えると、公務員をたくさん増やす必要はないが、自律的な市民参加によるまちづくりということから、ボランティアのネットワーク作り、またそれに対する行政支援は必要と考える。

委員 新市建設計画を協議する中で、財政計画についてはいつごろでてくるのか。

事務局 行財政改革、行財政基盤の確立は基本理念の記述にはないが、いずれかの段階でこの場に出していきたい。財政計画については、合併後の事業について特例債等を含め作っていかなければならないが、半年以上先のこととなると思う。

- 委員 住民説明会を実施されるのなら、7つの基本方針の下に事業まで入っていればわかりやすいと考える。
- 委員 成人式は一箇所でできる建物が作ればよいが、地域ごとにやるのがよいと考える。都会の成人式では誰が誰やらわからないということもあり、地域で育ててくれた人と祝い、そして同窓会的で故郷を感じさせる雰囲気を残した方がよいと考える。
- 委員 住民・福祉・教育小委員会の中でも、入れる施設がないのなら分散型もやむなしとの提案もあった。

(2) 次回の議題について  
新市建設計画について

(3) 次回の小委員会の日程等

第8回新市建設計画策定小委員会

日程 平成14年11月15日(金) 午後1時30分

場所 アグリセンター大宮

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局  
(速報のため、事後修正の可能性あり)